

2023 年 1 月 31 日

C02 排出量のリアルタイム見える化サービスを開始 清水建設が導入。環境配慮型イベントの実現に向けラグビー試合の脱炭素 アクションに活用

株式会社 EnergyColoring

（株）EnergyColoring（本社・東京都府中市、以下エナジーカラリング）は、廃棄スマートフォンを AI/IoT 電流計にリユースした消費電力の測定・可視化サービス「EnergyColoring」を提供してきましたが、この度新たに C02 排出量を簡単にリアルタイム表示するサービスをローンチしました。

このサービスは清水建設株式会社に初めて導入され、2/18(土) 14:30 K.O の「清水建設江東ブルーシャークス」対「日野レッドドルフィンズ」（東京／夢の島競技場）で使用した電力の C02 排出量をリアルタイムに推定します。

なお、エナジーカラリングはこの AI/IoT 電流計「EnergyColoring」を「ENEX2023（第 47 回地球環境とエネルギーの調和展）/2/1(水)～2/3(金) 東京」に現物展示いたします。この機会に、15 分程度で終わる設置作業と、1 分後には WEB 上で可視化される様子を実際に体験ください。

■C02 排出量リアルタイム見える化サービスについて

「C02排出量リアルタイム見える化サービス」は、AI/IoT電流計「EnergyColoring」を設置することで、空調・照明・OA機器等10程度に内訳された消費電力量と共に、C02排出量もリアルタイムダッシュボードで見える化するサービスです。電気工事也不要、15分程度の軽作業で設置可能でありながら、設置の1分後にはWeb上で消費電力とC02排出量が表示されます。本サービスは、ニーズに合わせて表示をカスタマイズ可能で、既存アプリとのAPI連携も可能な点が特徴です。

本イベントでは、以下の点を来場者の方に体験いただけます。

- ・ 自身のスマートフォンでリアルタイムにC02排出量をモニタできる
- ・ 円グラフ表示で内訳がわかる
- ・

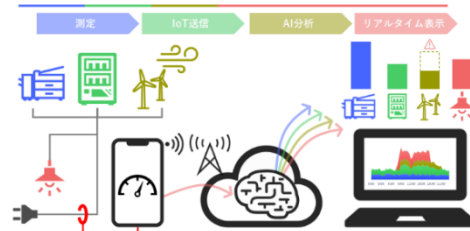
■ダッシュボード表示イメージ図

用途内訳名称は、現在AI分析中です。

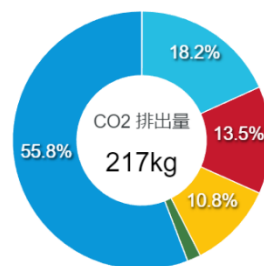
スタジアムはなにに電気を使っているのだろう？

Energy Coloringとは、皆さんが持っているスマートフォン1台と、独自開発の分析AIにより、電気をなにに使っているか簡単にみることができるサービスです。
スタジアムでは、なにに、どれだけの電気を使っているんだろう？
確認してみよう！

Energy Coloringについて、詳細は [こちら](#)



- AI分析中#03
- AI分析中#07
- AI分析中#10
- AI分析中#11
- AI分析中#01
- AI分析中#02



電気を使うとCO2が排出されるよ。
いったいどれくらいCO2を排出しているのか見てみよう。

■背景

エナジーカラリングは商工業分野向けAI/IoT電流計「EnergyColoring」を2019年から提供し、延べ49ヶ月の間にビルや商業施設をはじめ累計200か所以上にセンサを設置、常時30台程度稼働しています。このような取り組みの中で、2050年の脱炭素に向けよりCO2見える化のニーズが一層高まっていることを実感しました。

ステークホルダーに環境への取り組みを開示することが求められているESG投資やTCFDなど、企業が社会や環境とどのように関わっているか示し、先の見通しをつける一手段として、従来は可視化が難しかったCO2排出量の見える化に答えるサービスをローンチしました。

■商工業分野向けAI/IoT電流計「EnergyColoring」について

商工業分野向けAI/IoT電流計「EnergyColoring」は電流を音としてスマートフォンで測定し、消費電力を空調・照明・OA機器等10程度に内訳。“工事不要・15分程度の軽作業”で設置可能でありながら、1分後にはWeb上で可視化します。消費電力の現状把握・診断・運用改善業務をDX化し、企業・施設の設備導入・更新等の省エネ対策の糸口になるソリューションを提供します。

■(株)EnergyColoringについて (<https://www.energy-coloring.com>)

エナジーカラリングは、電流を音としてスマートフォンで測定し、クラウドAIによって電力の用途内訳をリアルタイム（最大1分値1分遅れ）で可視化する商工業分野向けAI・IoTを活用したスマート電流計「EnergyColoring」の開発・運営を行い、脱炭素社会の実現には欠かすことのできない電力可視化を身近にするイノベーションを起こす社会貢献志向の技術者集団です。

「EnergyColoring」は、電力の用途内訳を電気工事不要で設置できるセンサと設置直後から遠隔監視可能な

リアルタイムダッシュボードで見える化するサブスクリプションのサービスです。 サービスを通じて商工業向けDX（脱炭素・異常検知・予防検知）を支援するとともに、センサには廃棄スマートフォンを活用することでアップサイクルにも取り組んでいます。

本件に関するお問い合わせ

広報担当 堀川

電話：042-407-8652 メール：sales@energy-coloring.com